

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、消化器・一般外科では、奈良県立医科大学消化器総合外科と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究機関に対して提供しています。

下記共同研究課題での利用のため本学から提供する診療情報等については、この共同研究での利用・提供についての同意が研究対象者の方から得られていませんが、当該利用・提供を行うことについて、「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由等が倫理委員会によって認められて、本学の理事長が提供を許可しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 脾切除における抗血栓薬服用歴が術後経過に及ぼす影響に関する研究

[共同研究の代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・研究代表者：奈良県立医科大学消化器・総合外科・教授 庄雅之

本研究に関する問い合わせ先：奈良県立医科大学消化器・総合外科・病院助教 中村広太

電話：0744-22-3051（応対可能時間：平日9時～16時）、ファックス：0744-24-6866

Eメール：surg-1@naramed-u.ac.jp

[利用・提供の対象となる方]

2015年1月～2017年12月までの間に、当院消化器・一般外科科において脾切除を受けられた方

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：脾切除術後出血の発症、術後出血発症までの期間、各抗血栓薬ごとの術後出血の発症、術後合併症、術後生存期間、年齢、性別、既往歴、BMI、術前治療の有無、抗血栓薬の服用歴、等

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：有 ☒ ）

脾切除患者の術後出血を主要評価項目として、周術期における抗血栓薬の影響を評価することを目的とする。

[主な共同研究機関及び研究責任者]（営利企業との共同：有 ☒ ）

日本肝胆脾外科学会の高度技能専門制度認定修練施設

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：倫理委員会承認後より2024年12月31日までの間（予定）

提供方法：☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☐電子的配信 ☐その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：消化器・一般外科 講師 樋口亮太

研究内容の問い合わせ担当者：消化器・一般外科 樋口亮太

電話：03-3353-8111（内線25116）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-5269-7507

Eメール：rhiguchi@twmu.ac.jp